

「日本内視鏡外科学会」理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日 時：2009 年 4 月 9 日（木）

会 場：東京ステーションコンファレンス（東京）

出席者：北島政樹（理事長）、北野正剛（会長）、小西文雄（副会長）、伊熊健一郎、大橋秀一、大島伸一、木村泰三、黒川良望、白日高歩、谷川允彦、出沢明、万代恭嗣、東原英二、星合 昊、松本純夫、森川利昭、森川康英、渡邊昌彦（以上、理事）、清水信義（監事）、清崎浩一、住永佳久（以上、総会幹事）

委任状：土屋了介（理事）、加藤紘之、宮野 武（以上、監事）

1. 前回議事録の件

2008 年 9 月 1 日（月）に開催された前回理事会の議事録について確認された。

2. 第 21 回総会収支報告

北野正剛理事より、第 21 回総会の収支について、収入合計が¥57,161,500-、支出合計が¥56,610,685-であり、余剰金の¥550,815-を本会計に組入れたことが報告された。

また、第 11 回世界大会の収支についても報告され、正しく会計されていることが報告された。

3. 財務委員会報告

星合昊委員長より 2008 年度決算報告（暫定）が示され、会費収入、各種事業費など支出ともに増額しており、また、過去 5 年分の租税公課の支出があり、赤字になっていることが報告された。また、本年より会計顧問に対する会計顧問料が項目として追加されているが、本年度の金額はこの顧問料についても過去 5 年分の調査費用であることが説明された。また、正当に税務申告がなされたことが報告された。

4. 将来構想委員会報告

松本純夫委員長より、法人化について報告された。

2008 年 12 月 24 日に前波範彦公認会計士と会合したことが報告され、他学会の公益法人化、一般社団化の様子を見る方策が必要であり、凡そのスケジュールが示された。

一般社団法人化・公益法人化のメリット・デメリットを改めて整理する必要があるという意見があり、規約委員会、将来構想委員会にて協議することとなった。また、定款改訂などが必要であり、評議員選出方法の変更なども要するので、慎重に検討する必要があることが指摘された。

また、会計年度について、学術総会開催時期との兼ね合いから、現状の 12 月～1 月から 6 月～5 月に変更することが提案され、次回総会に諮ることとなった。

5. 倫理・渉外委員会

白日高歩委員長より、利益相反に関する規定について、先行する学会の規定を参照して検討していることが報告された。

6. 教育委員会報告

黒川良望委員長より、今年度の内視鏡下結紮・縫合手技講習会について、10回の開催を予定していることが報告された。また、北島政樹理事長より、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社より「ダヴィンチ・サージカルシステム」に係わるトレーニングプログラムに関する協力依頼があったことが説明され、教育委員会が担当することが承認された。

7. 学術委員会報告

北野正剛委員長より、2年毎のアンケート調査について準備していることが報告された。

また、Asian Journal of Endoscopic Surgeryの発刊状況と今後の出版予定について報告された。

費用負担があることから、評議員に対しては雑誌とOn-line配信を義務購読として年会費¥5,000-値上げすること、一般会員についてもOn-line配信料として¥2,000-値上げし、一般会員が雑誌購読を希望する場合は¥3,000-の購読料を徴収することが提案され、承認された。次回評議員会では財務委員会より提案されることとなった。

8. 国際委員会報告

万代恭嗣委員長よりIFSES Executive Meetingが前回世界大会の際に開催された、新理事長がDr. Albert Chousleb (FELAC 南米)に決まり、2012年の世界内視鏡大会がアカプルコ(メキシコ)にて開催されることとなったことが報告された。IFSES Executive Meetingについて報告された。また、外国籍名誉会員の規定の作成について意見があり、引き続き検討されることとなった。

9. 規約委員会報告

大島伸一委員長より、定款施行細則第4条の改正について報告され、承認された。

10. ガイドライン委員会報告

谷川允彦委員長より、「内視鏡外科診療ガイドライン」が発刊されたこと、また持ち回り理事会にてガイドライン発行の際の刷り直しに関する著者印税の部分的放棄について承認されたことが報告された。

11. 保険委員会報告

小西文雄委員長より、今年度の外保連に提出された要望項目について報告された。新設8項目、改正4項目、材料1項目を提出したことが報告された。

12. 評議員選考委員会報告

大橋秀一委員長より、応募締め切りを10月として申請募集をしていること、定款施行細則が変更されたことが報告された。また、今理事会にて承認された定款改訂に関して作業することと

なった。

13. 広報委員会報告

出沢明委員長よりニュースレター1号を発刊し、全会員並びに関連大学・病院に配布したことが報告された。

また、現状、産婦人科領域と泌尿器科領域の委員が欠けていることから、補充を行い承認は持ちまわり理事会で行うこととなった。

14. 第三者評価委員会報告

森川康英委員長より、前回理事会での報告以降、捜査当局、行政当局、会員からの要請がなかったこと、第三者評価委員会規約については検討中であることが報告された。

15. 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、日本医学会より「先端医療分野において今後特許対象とするべき発明に関する調査」の依頼があり、評議員にメールにてアンケート調査をした結果、本学会としては時期尚早であるため特段の意見がなかったとして報告したことが説明された。

また、同じく「緊急診療要請に遭遇した場合の意識調査」についての協力依頼があり、メール委員会で検討した結果、意識調査の対象を評議員とすることとなり、メールにて協力依頼したことが報告された。

16. メディカル・チーム委員会報告

渡邊昌彦委員長より、臨床工学技師、看護師の委員の協力を得て、内視鏡外科安全管理マニュアルの作成にあたっていることが報告された。具体的には機器・器具の準備・術中の扱いに関するガイドラインとなる予定である。

17. 医工学連携委員会報告

森川利昭委員長より、評議員に対し、医工学連携に関するアンケート調査を実施したことが報告された。これを基に、今後の本学会としての方針を検討する予定である。

また、北島政樹理事長より、「日本医工ものづくりコモンズ」の設立について、日本機械学会、日本コンピュータ外科学会と本学会で協力することが提案され、承認された。今後は医工学連携委員会が担当することとなった。

18. 伊藤賞選考委員会報告

東原英二委員長より、対象論文数について学会会計年度が変更された時に、会計年度にあわせて区切ることをしたい旨提案され、承認された。

19. 学術賞委員会報告

土屋了介委員長は欠席であるが、伊藤賞選考委員会との整合性のため学術賞委員会の名称について「大上賞委員会」と名称変更することが提案され、承認された。

20. 技術認定制度委員会報告

木村泰三委員長より以下の通り報告された。

- 1) 各領域の認定制度実施状況、準備状況について報告された。
- 2) 産科婦人科領域について更新の状況について報告された。
- 3) 小児外科領域において第1回認定が実施されたことが報告された。
- 4) 呼吸器外科領域については、前向きに検討されている。
- 5) 技術認定の更新制度について報告された。
- 6) 認定制度規約施行細則について検討されていることが報告された。

また、技術審査委員会（消化器・一般外科領域）委員長について、7月の時点で小西文雄理事を後任として交代したい旨提案があり、承認された。さらに、技術認定委員会委員長について、来年度より小西理事に交代することが提案され、承認された。

21. 技術認定合格者

木村泰三技術認定委員長より、各領域の合格者が発表され、

- 1) 第5回技術認定（消化器・一般外科領域）審査結果が報告され、合格者120名が承認された。
- 2) 第1回技術認定（小児外科領域）審査結果が報告され、合格者9名が承認された。
- 3) 泌尿器科50名、産科婦人科4名の認定希望者が報告され、承認された。

22. 次期役員選出の件

北島理事長より、現役員の任期と次期役員候補である評議員のリストが提示され、検討された。また、定年に達していない大島伸一理事より辞退の申し出があり、承認された。その結果、以下の通り、次期役員候補者が選出された。

<現役員で留任する役員>

伊熊健一郎（健保連大阪中央病院）	産科婦人科
北野 正剛（大分大学）	消化器・一般外科
黒川 良望（東北大学）	消化器・一般外科
小西 文雄（自治医科大学）	消化器・一般外科
土屋 了介（国立がんセンター）	呼吸器外科
出沢 明（帝京大学溝口病院）	整形外科
万代 恭嗣（社会保険中央総合病院）	消化器・一般外科
星合 昊（近畿大学）	産科婦人科
松本 純夫（東京医療センター）	消化器・一般外科
森川 利昭（東京慈恵会医科大学）	呼吸器外科
森川 康英（慶應義塾大学）	小児外科
渡邊 昌彦（北里大学）	消化器・一般外科

<新理事候補者>

小澤 壯治（藤田保健衛生大学）	消化器・一般外科
大貫 恭正（東京女子医科大学）	呼吸器外科
坂井 義治（京都大学）	消化器・一般外科
徳村 弘実（東北労災病院）	消化器・一般外科

馬場 志郎（北里大学）	泌尿器科
松田 公志（関西医科大学）	泌尿器科

＜新監事候補者＞

大橋 秀一（大阪中央病院）	消化器・一般外科
木村 泰三（富士宮市立病院）	消化器・一般外科
谷川 允彦（大阪医科大学）	消化器・一般外科
東原 英二（杏林大学）	泌尿器科

なお、新理事の選出にあたっては領域ごとの会員数に対する占有率などが考慮され、また、奥田準二（大阪医科大学）評議員、森俊幸（杏林大学）評議員などが候補に上がった。

23. 第 22 回総会準備状況報告

小西文雄会長より準備状況が報告された。

会 長：小西文雄（自治医科大学付属大宮医療センター外科）

日 程：2009 年 12 月 3 日（木）～5 日（土）

会 場：京王プラザホテル（東京）

テーマ：内視鏡外科手術 20 年の歴史と今後の発展

※演題募集は 5 月 8 日～6 月末日の予定。

※JSES/SAGES ジョイント・シンポジウムを実施予定。

※コメディカル・セッションが企画されている。

24. 第 23 回総会準備状況報告

森川康英副会長より準備状況が報告された。

会 長：森川康英（慶應義塾大学医学部小児外科）

日 程：2010 年 10 月 18 日（月）～20 日（水）

会 場：パシフィコ横浜（神奈川）

テーマ：未来を拓く内視鏡外科—異端と先導

※日本コンピュータ外科学会と合同セッションが企画されている。

25. 第 24 回総会準備状況報告

星合晃理事より準備状況が報告された。

会長：星合 晃（近畿大学医学部産科婦人科学教室）

日程：2011 年 12 月 5 日～（予定）

会場：大阪国際会議場，リーガロイヤルホテル（大阪）

26. その他

黒川理事より、コメディカル会員の入会に際して評議員の推薦が必要とされているが、定款施行細則の定める通り、身分を証明する書類の提出と正会員の推薦と変更すべきとの提案があり、コメディカル会員の入会申込添付書が変更されることとなった。

以上